

紫波ネット

12

人と地域をつなぐ広報紙

2018・No.997

岩手県紫波町



HPはこちら

お客さまと一緒に家づくり。
今、仕事がすごく楽しいです

今月の表紙

(有)藤建ハウス プランナー

中野 夕希さん (古館地区在住)

「紫波型エコハウスは、快適で健康に過ごせてランニングコストがかからない家。当社では、エコハウスの基準を満たす家しか建てていません」と胸を張る中野さん。快適さや暮らしやすい設計、おしゃれな内装からエクステリアまで、お客さまと一緒に家づくりをトータルで考えるこの仕事を楽しんでいます。

特集

紫波で働く

～若手社員が語る魅力と夢～ — 04

02 「あづまねマウンテントレイル2018」初開催 | 11 環のくに紫波

14 除雪作業にご理解とご協力をお願いします/キラッとちゃ・ちゃ・ちゃんねる

18 振り返ろう2018 | 19 POPコンクール入賞者をお知らせします

町のシンボル東根山を駆け抜ける 「あづまねマウンテントレイル2018」 初開催

「あづまねマウンテントレイル2018」が10月28日に開催されました。東根山麓を中心に地域活性化や交流人口拡大を目指す「あづまねイシ山イイ湯だなプロジェクト」の一環として、同実行委員会（中田久敏委員長）が初めて開催。当日は時折小雨が降る中、県内外から出場した170人が、東根山に整備された1周約13キロのコースを駆け抜けました。前日の雨によるぬかるみなどで転倒する人もいましたが、大きなケガに至ることなく、最後は観戦に訪れた人々からのエールを受けながら全員がゴール。コース上には鮮やかな紅葉に包まれる場所もあり、参加者たちは「最高！」「気持ち良い！」と笑顔を見せてくれました。1時間16分17秒というタイムで男子1位に輝いた高橋恒平さん（秋田県横手市）は「ここまでのタイムは自分でも予想していなかったので驚きました。急斜面などもありましたが、気持ち良く走ることができました」と喜びを語りました。

参加者たちは、競技後にラ・フランス温泉館で疲れを癒したり、おふるまいバーベキューで紫波の恵みを味わったりして、交流を深めていました。



当日の朝、東根山に虹がかかりました



参加者は、町新技術研究会が開発したタイム測定用のリストバンドを身につけました



丸太の川渡り



スタートを切り、ききょう荘の裏手を走る参加者



時間差でスタートする「ウェーブスタート」



鮮やかな紅葉に包まれた猫の背コース



ナナム松分岐



水分神社付近では、湧き水を汲みに来た人々やスタッフが声援を送りました



観戦者とハイタッチ!



手をつないでゴール!



男子入賞者



女子入賞者



おふるまいバーベキュー



町の景色を背に、ラーメン畑周辺を駆け上がる参加者たち



紫波で働く

～若手社員が語る魅力と夢～

町は、「紫波町まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、「ローカル経済でしごとが生まれる」こと、「女性・若者に選ばれて新しいひとの流れが生まれる」ことを基本目標として掲げ、既存企業や起業希望者への支援などの取り組みを進めています。

今回は、「若者にとって魅力ある働きたい町・住みたい町」とはどのような町なのかを考えるために、熊谷町長を交えて町内企業で働く若手社員による座談会を開催。「町で働く魅力や課題、どんな未来像を描いて働いているのか」などをテーマにお話を伺いました。



〈座談会参加者〉
(左から)古澤 亜澄さん、
松田 秀光さん、熊谷町長、
鷹薙 慶太さん、
鷹薙 悠さん

若者座談会

youth symposium

〈日時〉

10月31日(水) 午後7時～9時

〈会場〉

オガールイン 1階(オガールベース内)

町の印象や、良いところ、改善が
必要なところを教えてください。

町のありのままの自然が好き

●古澤さん 以前、盛岡市の川目地区で
アパレルを軸に仕事をしていました。山
や川が好きで、作品の色合いなどに投影



松田 秀光さん／赤石地区出身で矢巾町在住。
(株)いわちくの企画管理課で、キャンペーンやお歳
暮ギフトの企画などを担当。県外の高校に通い、大
学でUターン。「生まれ育った地元で働くことは自
然なこと」と話す、日本酒と温泉が好きな28歳。

株式会社いわちく

〒028-3311 紫波町犬刈字南谷地120

☎672-4181

創業は昭和36年。紫波町の本社工場のほか、2工場
(久慈・水沢)、4営業所(青森・久慈・水沢・仙台)、5直
売・直営店。事業内容:食肉の処理解体加工、食肉の
製造・販売、副生物・副産物の処理
加工・販売、ハムソーセージなど食
肉加工品の製造・販売、惣菜の製
造・販売、ラム・マトン・プロイラー
類の販売、直営店の経営。



古澤 亜澄さん／赤沢地区在住の28歳。今年4
月末に、服の仕立てやお直し・刺しゅうや染色の専
門店「グランマ・ファーム」をオープン。前職も服飾
関係の仕事でしたが、自分でやりたいことをやり
たいと思い立ち、空き物件をリノベーションして起
業。趣味は仕事。

「grandma farm

—グランマファーム—

〒028-3305 紫波町日詰字東裏121-3

☎080-1800-9661



鷹薙 慶太さん／上平沢地区出身・在住。岩手県
立農業大学校を卒業後、農事組合法人水分農産
で働く25歳。組合としては、水稲や小麦、そばのほ
か、小松菜、水菜、玉ねぎなどの野菜も栽培してい
る。主に水稲を担当。趣味は温泉。

農事組合法人水分農産

〒028-3444 紫波町小屋敷字四方田139-1

☎673-7687

昭和56年、水分麦組合を結成(組合員7人)。平成
8年「農事組合法人水分農産」創立。事業内容は水
稲、小麦、そば、野菜の生産・販売、受託作業(水稲
の収穫など)。水稲50ha(ヒメノモチ、もち美人、
ひとめぼれ)、南部小麦30ha、ソバ30ha、野菜
5.8ha(小松菜、水菜、ネギ、キャベツほか)。



鷹薙 悠さん／上平沢地区出身・在住の30歳。空
調ダクトの製造・販売・施工とステンレス製品の製
造を行うエヌケー紫波(株)に勤務。ダクト製造を担
当。趣味はスキー、キャンプ。

エヌケー紫波株式会社

〒028-3451 紫波町稲藤字升形201

☎673-8100

平成3年4月に紫波町で創業。事
業内容は空調ダクトおよび周
辺機器製造販売、ダクト加工関連
機器製造販売、空調設備設計施
工。加工技術(切断・機械加工・溶
接)。



するほど紫波の自然が一番美しいと思っ
ています。紫波の自然は、全国に誇れる
と思います。空気の香りや温度、質感な
ど、人の手が入っていない、作られたもの
ではない、ありのままの自然が好きです。
町で働いていて感じるのは、お客さ
んの金銭感覚がシビアだということ。
1500円で販売しているブローチを高

いと言っている人が多いのですが、その商品に
かかった時間や思い、手間の価値を見て
くれないのではないかと思います。
お客さんのほとんどは、前職のときのつ
ながりで来てくれる町外の人です。町内
のお客さんも増えましたが、リピーター
はほとんどいない状況です。

おいしいものがたくさんあり
迷ってしまう

●松田さん 紫波町には、うるち米やもち米、お酒、果樹、肉、そばなどおいしい食べ物がたくさんあります。それゆえに紫波のお土産を買っていくときに悩みますが、それを逆手にとって「選ぶ楽しみ」を提供できるような工夫が必要ではないかと思っています。そうしたお店や紫波町の食材を使用している飲食店を町内外にPRして知ってもらうことが大切だと考えます。

また、住みやすい町だと思うので、住む場所が増えればいいのではないのでしょうか。紫波町内のアパートを探した際、選択肢が少ないように感じました。1番は住み慣れた地元が良かったのですが、希望条件に合う空き物件がなかなか見つからず、隣の矢巾町にしました。

いろいろな良い物があるのにPRが弱い。もっと日本酒をPRした方が良い

●鷹嘴(悠)さん 紫波町は自分が生ま

れ育った場所なので、落ち着きます。今の会社に入社する前、東京都の内装関係の会社に就職したのですが、1カ月もしないうちに紫波に戻ってきました。自然が全くなくて、ビルばかりの環境がつかったためです。今振り返ると、もう少し我慢しても良かったかなと思いますし、岩手ばかりではなく外の世界に出て揉まれたいといけなと思うときもあります。

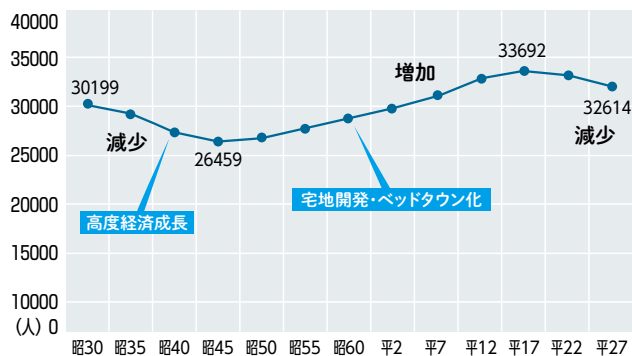
Rした方が良いと思います。紫波町について町外の人に聞いてみると、地価が割と高いと言われます。町内でも条件が良いところは特に高いイメージがあり、地域格差を町内でも感じます。小学校が複式学級になっているという話も聞きますし、西部・東部地区はどんどん衰退し、人が減っていると感じています。

●古澤さん 私自身も、地域のアンバラン

紫波町総人口の推移

紫波町が誕生した昭和30(1955)年の総人口は、国勢調査によると3万199人でした。その後、高度経済成長期には減少を続け、昭和45(1970)年には2万6459人まで減少。

しかしその後、大規模な宅地開発が始まり、バブル経済崩壊後も順調に人口は増え続け、平成17(2005)年には3万3692人となりました。しかし、平成27(2015)年には3万2614人となり、現在では減少傾向にあります。

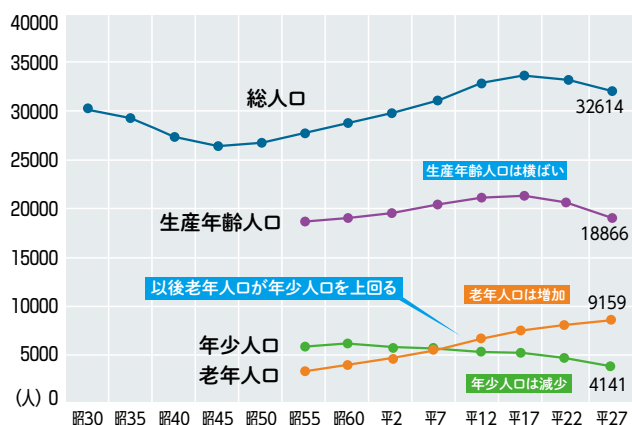


出典：総務省「国勢調査」(各年10月1日)

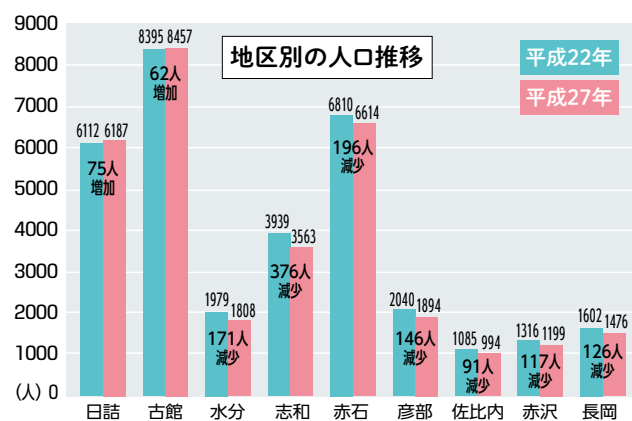
年齢3区分別人口の推移

年齢3区分は、年少人口(15歳未満の人口)、生産年齢人口(15歳以上65歳未満の人口)、老年人口(65歳以上の人口)の3つに分けた年齢区分のこと。

生産年齢人口は、ほぼ横ばいで推移していますが、平成12(2000)年の2万1104人をピークに減少を続けています。年少人口は昭和60(1985)年の6050人をピークに減少を続けています。対して老年人口は、一貫して増加し続けています。平成12(2000)年には「年少人口」を「老年人口」が逆転。平成27(2015)年には、「生産年齢人口」1万8866人、「年少人口」4141人、「老年人口」9159人となりました。



出典：総務省「国勢調査」(各年10月1日)



出典：紫波町

を悪い意味には捉えていませんが、東部地区の広いエリアから1力所に通学するのは大変だと思います。子どもたちにとって、複式学級ではなく同級生がたくさんいる環境で学ぶのは、社会性が身に付きやすいことだと思います。しかし、通学をサポートする家族も大変ではないでしょうか。おじいさん、おばあさん世代は、自分が通った学校が無くなって寂しいと感じているのではないかと思います。

農産物が豊富な紫波町

●鷹鷲(鷹)さん 紫波町は米・リンゴ・ブドウなどの農産物が豊富です。他市町村に比べて、種類も多いと感じます。

自分は水稻を担当していますが、冬場の仕事がありません。現在は暗渠排水^{あんきふすい}の工事を受託していますが、冬の仕事も考えていく必要があると思っています。

◎皆さんは町でこれからも働き、住み続けたいですか。

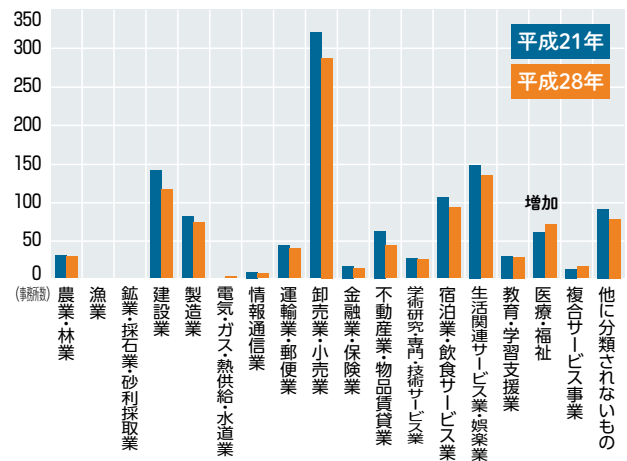
毎年課題を解決しながらやっていく農業が好き

●鷹鷲(鷹)さん 紫波町には、農業を

事業所の推移

平成21(2009)年と平成28(2016)年を比べると、ほとんどの種別で事業所数が横ばいか減少しています。

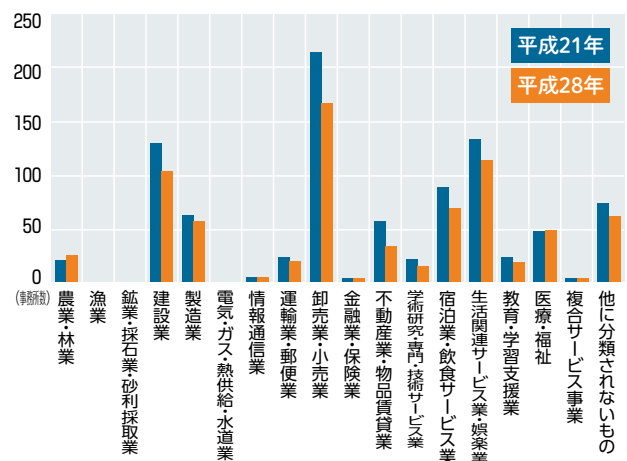
ただし、「医療・福祉」に関しては平成21(2009)年が60事業所だったのに対し、平成28(2016)年では71事業所に増加しています。「卸売業、小売業」は33事業所の減、「建設業」は25事業所の減、「不動産業、物品賃貸業」は19事業所の減となっています。



企業数の推移

平成21(2009)年と平成28(2016)年を比べると、ほとんどの種別の企業で横ばいか減少しています。

増加しているのは「農業、林業」が4社、「医療、福祉」が1社です。「卸売業、小売業」が49社の減、「建設業」が27社の減、「不動産業、物品賃貸業」が24社の減、「宿泊業、飲食サービス業」が20社の減となっています。



出典:総務省「平成21年経済センサス」(7月1日)、
総務省・経済産業省「平成28年経済センサス・活動調査 結果」(6月1日)

県外で経験を積んだ人が
うらやましいときも

しながら住み続けたいと思います。工場では同一規格の物を作れると思います。が、農業で一律に同じ物を作ることは難しいです。毎年課題が出てきて、それを解決しながらやっていくことが好きです。し、自分に合っていると思います。

生まれ育ったところは特別

今の職場は転勤がない会社ですが、転勤があれば自分から手を挙げたいと思います。職場には1回県外に出て戻ってきた人もいて、うらやましく思うときもあります。

●古澤さん 私は飽きっぽい性格だと思います。常に新しいことをやっていないと飽きてしまいます。住み続けたいかと聞かれると正直分かりません。不便な環境が好きで、自給自足の生活が理想です。赤沢地区にある自分の家の山(ブドウ畑跡)で暮らすのも良いかもしれません。前職で買い付けに行ったバリ島も良いところだなと思っています。

自給自足の生活が理想

や寒さを感じられないのが物足りないと思います。

●鷹鷲(悠)さん 社会人になって10年が経ちます。もともと町外に出たいと考えていました。さまざまな事情があり、家を出て行くという決断ができませんでした。

●松田さん 県外の高校に進学し、一度岩手県を離れました。そこも良いところだと思いましたが、生まれ育ったところはやはり特別だと感じます。冬に東京や大阪のテーマパークに旅行した際、暖かくて過ごしやすそうだと思う反面、岩手の雪



空調ダクトの製造・販売を行うエヌケー紫波㈱の工場内



農事組合法人水分農産で、主に水稻を担当する鷹鷲慶太さん。冬場は暗渠排水の工事や、機械の整備などをします

Q 仕事が生まれる環境づくりとして「企業誘致」は進んでいますか。また、若者が感じる町の課題について町長から感想をお聞かせください。

エア・ウォーター㈱が紫波町に岩手工場を建設

●町長 企業誘致ということですが、エア・ウォーター㈱という企業を誘致することができました。エア・ウォーター㈱岩手工場が犬渕工業団地内に完成し、10月から営業運転を開始しました。紫波町を選んだ理由としては、北東北の流通の拠点として、岩手県の真ん中に位置していることが良かったようです。

宅地造成が盛んに行われ、他ではまねできない農産物の多彩な地域

●町長 先ほど話に出ましたが、町内には若い人が借りるアパートが少ないと思います。一方、ここ2年くらいで300戸ほど民間の宅地造成が行われており、分譲すれば売れるという状況のようです。中央部、東部、西部地区を見ると、中央部には国道4号、東には国道399・456

号、西には盛岡和賀線と、南北に幹線道路が走っているという条件は同じです。長岡地区や水分地区の方が盛岡に近いのに、駅へのアクセスの問題もあるのでしょうか、中央部ばかり宅地造成が進んでいます。

紫波町は、農産物が多彩で豊富な地域です。他の町には真似できないのではないかと思います。紫波の果樹栽培には歴史があり、東部地区はブドウの一大産地で、西部地区のラ・フランスも県内では珍しいものです。

Q 同世代の友人たちが「住みたい」「戻ってきたい」と思える魅力あるまちになるために、どんなことが必要ですか。

田舎暮らし体験ができる場があれば良いと思う

●古澤さん 田舎暮らし体験ができる場があれば良いと思います。例えば羊を飼う羊毛を刈る・染める・織る編むというような一連の流れが体験できるような体験ツアーがあれば魅力的です。縄文土器を作ったりするのも面白いかもしれません。



リノベーション……P9

今ある不動産に新たな価値を付与して活用する取り組みのこと。民間主導で事業を興し、行政がこれを支援する“民間主導の公民連携”が基本的な実践手法です。

町が開催する「リノベーションスクール」や「しわ起業塾」は、不動産の再生を通じて、まちで新しいビジネスを生み出し、地域を再生する実践の場となっています。(詳細は企画課 地域開発室に問い合わせください ☎672-2111 内線2321)



秋晴れの下、多くのお客さんでにぎわう「いわちく感謝デー」



刺しゅうがほどこされた服やオリジナル小物が並ぶgrandma farm—グランマファーム—

Uターンしてくる人のために
安心して戻れる場があるといい

●松田さん Uターンしてくる人のために、紫波町を知ることができる場、安心して戻れる場が作れるといいのではないかと思います。もしも小学校が統合となった場合、校舎の活用を検討が必要になると思いますが、そこに企業誘致をしたり、宿泊施設にしたり、自然を満喫できて遊べる施設にしたり、災害に強い建物であることを生かして備蓄庫にする方法などが考えられると思います。

食育や地域とのつながりとして、(株)いわちくでは、町内小学校や農業高校・大学などからの見学を受け入れています。毎年開催している感謝デーには「いわちく大学」としてウインナーの手作り教室を開催して、食べることの大切さやおいしさを伝える活動をしています。

起業する若者への支援は重要な取り組み。情報を広く伝える工夫が必要

●鷹鷲(悠)さん 日詰商店街に、リノベーションでビーガンのお菓子を販売するお店ができたと言いました。起業する

若者への支援は重要な取り組みだと思いますが、町内に住んでいる人はそのことを知りません。もっと情報を広く伝える工夫が必要ではないでしょうか。

●古澤さん 私はリノベーションで起業しましたが、特殊なケースだったと思います。リノベーションスクールなどには参加せず、役場の担当者に相談して、利用できる不動産をリノベーションしました。

いかにその商品に手をかけたかでモノの価値を見てほしい

●鷹鷲(悠)さん 自分は職人として仕事をしているので、いかにその商品に手をかけたかでモノの価値を見てほしいと思っています。価値観の底上げをしてもらわないと、どうしても大手の大量生産商品やブランド力には負けてしまいます。商品のPRは会社で行うべきことかもしれませんが、もっと興味を持ってもらうために自分たち一人ひとりがSNSなどで発信することもできます。ただ、それには限界もあるので、町の力も借りたいと思います。

紫波であることが一目で分かるような統一デザインで町外へ魅力発信

四ツ堰鹿踊

【紫波町指定無形民俗文化財】……P10

朝倉流四ツ堰鹿踊と称し、巻物などによれば、二日町の踊りの伝承を受けたものとされています。約310年以上も前から伝承されている踊り組ですが、踊りの変わった時期は詳しくされていません。昭和50年に紫波町無形民俗文化財に指定されました。



●古澤さん 最近は、紙媒体だと見ない人が多いと感じます。また、町内で開催する講座などのチラシを町外にも配ったり、SNSなどで発信したりしても良いと思います。逆に、町外に紫波の広報や情報誌が配架されても良いと思います。

今ある施設をもっと活用すべき

●鷹鷲(慶)さん 町内に残っている同級生は多く、6割くらいかと思っています。買い物などの利便性は良いですね。ただ行楽施設と呼べるものが無いので、ラ・フランス温泉館など今ある施設をもっと活用すべきだと思います。

移住してきた人に「ようこそ」と言ってもらえる環境をつくる ことが大切

●鷹鷲(悠)さん 私の地域には「四ツ堰鹿踊」という郷土芸能があり、そのつながりで若い人だけでなく、いろいろな世代の人が集まります。

私は地域の青年部の会長をやっています。若い世代の人たちは、家を出ている人が多いとされていますが、実は家に戻っていたりします。表に出てくる人が少ない人が多いですが、「そういう人

たちに自発的に参加してもらったためにはどうしたら良いか」という話は良く話題に上がります。

一旦外に出て戻ってきた人や、外から移住してきた人に「ようこそ」と言ってもらえる環境をつくるのが重要な課題かもしれないと思っています。

◎若者たちが示した課題解決のために、町長は何をするべきと考えますか。

もっと若い人の横のつながりが必要

●町長 皆さんくらの年代だと、面白いと思えないとその仕事は続かないと思います。自分の仕事に自信と欲を持たないといけません。年代的に「自分はずっと良い物を作る」と思う時期でしょう。

今回は町が呼び掛けてさまざまな業種の若い人に集まってもらいましたが、もっと若い人の横のつながりが必要だと思います。情報が行き届いていないのは改善していきたいと思いますが、いろんな情報をつなげて職種の違う若者たちが話し合う場があっても良いと思います。

学校再編についてはまだ決定していませんが、町としては一定の方向性は示

たつもりです。統廃合による跡地の活用方法に関しても、若者のアイデアを期待しています。

◎将来にどんな目標・夢を持っていますか。

●古澤さん 山ごもりをするのが夢です。将来的には、一人で自給自足の生活を送り、携帯を持たなくても大丈夫な環境にいたいと思っています。一人で考える時間がほしいです。しかし全く人に会いたくないわけではなく、1カ月に1回しか会わなくても成り立つ人間関係を構築したいです。

●松田さん やりたいことはたくさんあるのに、つい面倒くさがって諦めてしまします。やりたいことを面倒くさがらず、かつ我慢せずにやれるようになります。

●鷹鷲(悠)さん 今の会社で働き続けて、職人としての腕を上げたいです。腕一本で生きていけるようになるのが夢です。将来的には実家の農業にも携わりたと思っています。

●鷹鷲(慶)さん 季節を問わず、安定して農業ができるようになればと思います。いつか水分農産だけでは農地の集積や委託作業を受け入れきれない時代が来ると思います。人も技術も改革が必要

で、地元の人々をもっと盛り上げていく必要があると感じています。

〈まとめ〉

地元に生まれた皆さんには
紫波町が一番だと思ってほしい



●町長 紫波町は住みやすく、利便性が高いのが特長です。隣の矢巾町に岩手医科大学も移転してきましたし、県内でも条件が良い町です。生活そのものがしやすく、暮らしやすい町といえるでしょう。

これからのまちをつくっていくのは皆さんです。町に戻って働いている若者も増えていますが、利便性の良さを感じて移住してきたのだと思います。紫波町で生まれた皆さんには、「紫波町が一番だ」と思ってもらいたいです。



公衆衛生功労者知事表彰受賞 松崎 勝見さん(水分地区) 県公衆衛生組合連合会会長表彰受賞 日詰11区まちピカ応援隊、 川を守る会前郷



熊谷町長(右から2番目)のもとを報告に訪れた受賞者の皆さん

水分地区の松崎勝見さんが、長年にわたり地域の環境衛生活動に尽力した団体や個人を表彰する「公衆衛生功労者知事表彰」を受賞しました。松崎さんは、紫波町環境衛生組合連合会会長として、町内の環境保全やごみ分別の指導など、環境衛生の普及拡大に尽力するとともに、地域では資源リサイクルの普及にも取り組むなど、水分地区、そして町全体で活動が続けてきました。

また、町内で平成17年からまちピカ応援隊として活動してきた「日詰11区まちピカ応援隊」と「川を守る会前郷」が「県公衆衛生組合連合会会長表彰」を受賞しました。

日詰11区まちピカ応援隊は環境美化活動と資源回収を行い、地域住民の環境美化への意識啓発にも積極的に取り組み、住み良い環境づくりに尽力してきました。

川を守る会前郷は、鮭の遡上やホタルの飛び交う川を求める子どもたちが川と親しめる環境を目指し、町内の太田川と宮手川のごみ拾いや草刈り、地区内の清掃・環境整備に取り組み、水環境の保全に貢献しています。

紫波町「ごみポイ捨て監視員の挑戦」

皆さんは、「紫波町「ごみポイ捨て監視員」を知っていますか？

「ごみのポイ捨て監視員は、ごみのポイ捨てを防止し、清潔で美しいまちをつくるため」「紫波町「ごみポイ捨て禁止条例」に併せて設置されました。

町内には現在、18人の監視員があり、各地域で啓発パトロールを行っています。昨年度からは合同活動として、18人全員で隔月1回、地区を巡回しています。

それでも、「ごみのポイ捨てはなくなりません。ポイ捨ては人通りが少なくなる場所や草が生い茂っている場所など、人目につきにくい場所に多く、捨てられているごみの多くは、タバコやジュースの空き缶、コンビニで購入した弁当の空、レジ袋など、暮らしが便利になるとともに増えてきたものです。

「ごみは自分で「ごみ箱へ」。そんな当たり前を、みんなの当たり前にしませんか。

監視員は今日も、誰かが捨てたごみを「拾う」ためではなく、「当たり前」を伝えるため、町内をパトロールしています。

監視員は今日も、誰かが捨てたごみを「拾う」ためではなく、「当たり前」を伝えるため、町内をパトロールしています。



「ごみポイ捨て監視中」ののぼり旗と、ごみ袋を手には活動する監視員たち



活動に当たった監視員の皆さん

12月は地球温暖化防止月間です

国は平成10年度から、12月を「地球温暖化防止月間」と定め、地球温暖化防止に向けた取り組みを推進しています。

CO₂削減には各家庭の協力が重要な役割を果たしています。次のような小さな行動も省エネ・地球温暖化防止につながります。ぜひ身近なことから取り組んでみませんか。

- ・ エアコンのフィルターは月2回を目安に掃除する
- ・ 室内の熱を逃がさないよう窓に断熱シートを貼る
- ・ 厚手のカーテンを閉める
- ・ 暖房は室温20℃を目安として、長い靴下を履くなどウォームビズ(※)に取り組む

WARM BIZ

※ウォームビズ実施期間は11月1日から3月31日までです。

【問合せ】環境課 循環政策室
☎672-2111 内線2251



■し尿の汲み取りの依頼・問合せ

紫波環境㈱ ☎672-2656

「すこやか号」は年末年始も曜日どおり運行します

毎週火曜日～金曜日に運行しているコミュニティバス「すこやか号」は、年末年始期間も曜日どおりに休まず運行します。

ただし、1月1日(火・祝)から3日(木)まで、川西中線と温泉線は、志和稲荷神社と志和古稲荷神社への初詣参拝客などで周辺道路が渋滞することから、運行経路が次のとおり一部変更されます。

■経路変更

- ・川西中線: 土地改良区北側～八幡公民館～ききょう荘の区間およびききょう荘～田屋の区間は経由しません。
- ・温泉線: 芽吹き屋～ききょう荘の区間は経由しません。

■問合せ

- ・岩手県交通(株)紫波営業所 ☎672-2120
- ・企画課 総合政策室 ☎672-2111 内線2311

国道4号に関するアンケートにご協力ください

国土交通省は、国道4号(盛岡南地区)の道路整備の計画検討にあたって、地域の皆さまのご意見をいただくため、アンケート調査を行っています。アンケート票は広報紙と併せて各世

帯へ配布しますので、ご協力をお願いします。回答期限は平成31年1月28日(月)までです。

アンケート票は役場にも備えているほか、岩手河川国道事務所や町ホームページからも回答が可能です。

■問合せ

岩手河川国道事務所調査第二課
☎624-3196



政治家は贈らない! 有権者は求めない!

政治家が、選挙区内の人や団体に対して、寄付をすることは公職選挙法で禁止されています。また、誰でも政治家に寄付をするよう勧めたり、求めたりすることも禁じられています。

●政治家の寄付禁止

政治家が、選挙区内の人や団体に対して歳暮や中元を贈ったり、祭などに寄付をしたりすることは禁止されており、罰則の対象となります。

●あいさつを目的とする有料公告の禁止

政治家が、選挙区内の人や団体に対して、主としてあいさつを目的とする有料公告を新聞、雑誌、テレビなどに出すことは禁止されており、罰則の対象となります。

●時候のあいさつ状の禁止

政治家が、選挙区内の人や団体に対し、答礼のための自筆によるものを除き、年賀状や暑中見舞いなどのあいさつ状を出すことは禁止されています。

●政治家に対する寄付の勧誘・要求

などの禁止

誰でも、政治家に対して寄付するように勧誘したり要求したりすることは禁止されています。また、政治家を威迫(※)したり、当選や被選挙権を失わせるなどの政治家を陥れる目的で勧誘や要求をしたりすると罰則の対象となります。また、政治家にあいさつを目的とする有料公告を要求することも禁止されており、威迫して要求すると罰則の対象となります。

※威迫…人を脅して従わせようとする

■問合せ 選挙管理委員会事務局
☎672-2111 内線2341

ご確認ください 「防災タウンページ」

日頃からの備えや災害時の行動のポイントを盛り込んだ「防災タウンページ 岩手県版」がNTTタウンページ㈱から発行されます。付録として「公衆電話+避難所マップ」も付いていますので、災害発生時はもちろん、いざというときに備えて確認しておきましょう。

「防災タウンページ」は、「タウンページ」と一緒に12月上旬から12月末にかけて、全住戸・全事業所に届けられます。

■問合せ タウンページセンタ

☎0120-506309

受付: 平日午前9時～午後5時

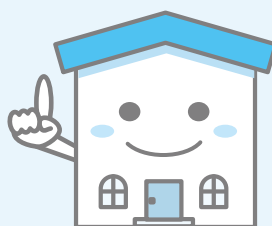
※土・日・祝日と年末年始(12月29日～1月3日)は定休日

紫波町空き家バンクを開設 ～登録物件を募集しています～

町は、空き家の売却または賃貸を希望する所有者から情報提供を受け、空き家情報を掲載し、利用希望者に紹介する「紫波町空き家バンク」を開設しました。現在の物件登録はまだ少ないですが、徐々に紹介物件を増やしていく予定です。

「紫波町空き家バンク」は町ホームページからアクセスが可能です。

■問合せ 都市計画課 都市整備室 ☎672-2111 内線2143



情報交流館・図書館

年末年始休館日
12月28日(金)
～1月3日(木)

期間中の返却(CD・DVD以外)は、ブックポストへお願いします。



暮らしの情報



催し

黒猫舎公演 宮澤賢治童話館

宮澤賢治の童話作品を県内各地で上演している黒猫舎が、賢治童話の朗読会を開催します。さまざまな音を取り込んだ、一味違った朗読を楽しんでみませんか。【参加無料】 【申込不要】

■日時 12月23日(日)

午前11時～正午

■会場

情報交流館 1階 市民交流ステージ

■問合せ 紫波町図書館

☎671-3746

新農業人フェアinいわて

就農を検討している人、農業に興味・関心のある人、農業体験を希望している人などを対象としたセミナーと相談会が行われます。

【入場無料】 【申込不要】

■日時 平成31年1月12日(土)

〈受付〉午前10時～

〈新規就農セミナー〉午前10時30分～午後1時

〈個別相談〉午後1時～3時30分

■会場 アイーナ 8階 804会議室

(盛岡市盛岡駅西通1-7-1)

■内容

〈新規就農セミナー〉新規就農支援情報の紹介、独立・自営就農者・雇用就農者の事例発表など

〈個別相談〉就農地域の紹介、農業技術・経営の習得、農地の確保、資金の調達、農業法人への就業・研修など

■問合せ (公社)岩手県農業公社

就農支援部 ☎(623)9390

家族介護者教室

自宅でご家族の介護をしている人を対象とした教室です。介護者の皆さんと交流しながら、リフレッシュしませんか。【参加無料】

■日時 平成31年1月17日(木)

午後1時30分～3時

■会場 役場 2階 会議室203

■内容 ミニ講座「お口の健康づくり」

■対象・定員 在宅で要介護1～5の認定を受けている人を介護しているご家族 15人

■申込・問合せ 平成31年1月10日(木)まで 長寿介護課 高齢者支援室 ☎672-2111 内線1233

※参加に際して、ショートステイなどの介護保険サービスの利用が必要な人は、担当のケアマネジャーにお早めにご相談ください。



募集

被害者支援ボランティアの募集

いわて被害者支援センターは、事件・交通事故の被害者や家族からの電話相談や、支援活動に携わるボランティアを募集しています。

■募集期間

平成31年3月31日(日)まで

■応募資格 25歳以上の人

※経験の有無は問いません。

■申込・問合せ 書類審査と面接の上、養成講座の受講者を決定します。養成講座の受講料は無料です。(公社)いわて被害者支援センター(盛岡市中央通3-10-2 岩手県民生活センター2階) ☎621-3750



お知らせ

一生に一度は受けましょう！ 肝炎ウイルス検査

肝炎ウイルスに感染していると、ウイルスによって肝臓の細胞が壊れ、進行すると肝硬変・肝がんになることもあります。肝炎の早期発見・早期治療が肝がんを防ぎます。

40歳以上でまだ検査を受けていない人は、肝炎ウイルス検査(血液検査: HBs抗原およびHCV抗体の有無)を早めに受けましょう。【検査無料】

■検査日・時間

県央保健所	
検査日	時 間
毎月第2・3水曜日	午前9時15分～11時

毎月第1火曜日	午後5時～7時
※曜日は変更になる場合があります。	
■申込方法	
県央保健所(盛岡市内丸11-1)へ事前に電話で申し込みください。	
☎629-6562	

町内医療機関	
※医療機関へ直接電話で申し込みください。	
医療機関名	電話番号
紫波地域診療センター	☎676-3311
加藤胃腸科内科医院	☎672-3699
川守田医院	☎676-5553
はたふく医院	☎672-2121
渡辺内科医院	☎672-3667

■問合せ 健康福祉課 健康推進室
☎672-2111 内線1346

盛岡・紫波地区環境施設 組合清掃センター 年末年始の各業務休業期間

盛岡・紫波地区環境施設組合清掃センターは、年末年始の期間、以下のとおりお休みします。

■ごみ集積所の収集、家庭系・事業系一般ごみの持ち込み

12月30日(日)～1月3日(木)

■家庭系ごみの引き取り

12月29日(土)～1月3日(木)、1月5日(土)

■田園有機の配達

12月30日(日)～1月3日(木)

■ふれあい館などの利用

12月29日(土)～1月4日(金)

■道路上の犬猫などの処理

12月30日(日)～1月3日(木)

■問合せ 盛岡・紫波地区環境施設組合清掃センター ☎697-3835

年末年始のし尿汲み取り休業期間 12/28(金)～1/6(日)

町汚泥再生処理センターは、12月27日(木)までし尿の収集を行います。年末年始は大変混み合いますので、余裕を持って申し込みください。

■休業期間

12月28日(金)～1月6日(日)

除雪作業にご理解とご協力をお願いします

◆除雪路線と除雪方法

除雪は機械作業のため、幅員4m以上の道路を対象に、通勤通学に重要な路線(2車線の基幹路線、歩道)を優先して行います。その他の道路は、生活上利用度が高いと判断される生活路線を対象に行います。

積雪量・降雪時間・地域事情によって、除雪作業の時間帯が異なります。また、大雪時や明け方に雪が降ったときは、除雪作業におおむね8時間程度を要するため、通勤通学時間帯に間に合わない場合もありますので、ご理解をお願いします。

◆目安はおおむね10cmの降雪時

除雪を行う目安は、積雪量がおおむね10cm程度に達したときです。

※10cm以下の積雪でも圧雪、わだち、吹きだまりなど、地域ごとの道路状況を判断して除雪を行う場合があります。

◆玄関先の除雪にご協力ください

町は、降雪による交通渋滞を防止するため、少しでも早く広い範囲の道路を除雪するように努めます。

※道路の除雪により、玄関先に残った雪の処理については、可能な限り皆さんのご協力をお願いします。

◆公共雪置き場のご案内

本年度も、地域の一時的な雪置き場として、右図の公共雪置き場2カ所のほか、住宅密集地では公園を開放します。利用する場合は、雪以外のものが混入しないようご注意ください。



このコーナーでは毎月、町の子育て支援情報など、「子ども」に関する情報をお伝えしています。
今回は、来年1～2月に開催する子育て支援講座についてお知らせします。

子育てに関する新しい知識を学んでみませんか？

時代とともにどんどん変わっている子育て知識について、各専門家から学ぶ講座を開催します。どなたでも参加でき、興味のある講座のみの受講も可能ですので、気軽にご参加ください。またこの講座は、11月から町で始まったファミリー・サポート・センター(ファミサポ)の援助会員養成講座も兼ねていますので、援助会員の登録を希望している人もご参加ください。

※ファミサポの詳細については、広報『紫波ネット12月おしらせ版(No.996)』の表紙をご覧ください。

子育て支援講座〈開講科目・日時・講師・会場〉

科 目 名(主な内容)	日 時	講 師	会場(予定)
①体の発達と病気 (子どもの発達段階に応じた身体の発達状態についての理解)	1月19日(土) 午前9時～正午	紫波中央小児科医	役場 2階 会議室201
②子どもの栄養と食生活 (子どもに必要な栄養素や食物アレルギーについての理解)	1月19日(土) 午後1時～4時	町栄養士	
③保育の心(子育て支援の意義と役割の理解)	1月25日(金) 午前10時～正午	町保育士	情報交流館 2階 大スタジオ
④安全・事故(子どもによくある事故の特徴や原因についての理解)	1月25日(金) 午後1時～3時	紫波消防署員	
⑤子どもの世話 (子どもが快適に過ごすために必要なケアと環境づくり)	1月25日(金) 午後3時15分～5時15分	町保育士	役場 2階 会議室201
⑥小児看護の基礎知識 (子どもの健康状態の観察方法についての理解)	2月2日(土) 午前9時～正午	保育所看護師	
⑦心の発達とその問題 (子どもの障がいの種類や特徴についての理解)	2月2日(土) 午後1時～4時	心理判定員	古館保育所
⑧子どもの遊び(子どもの遊びの理解、手作り玩具作成)	2月8日(金) 午前9時～正午	町保育士	
⑨事業を円滑に進めるために (実際に活動を行うための手順やルールの理解)	2月8日(金) 午後1時～4時	こども課、ファミリー・サポート・センター・アドバイザー	古館保育所
【希望制】 ●保育体験(遊び、昼食時間などの世話) ※9科目受講済みの人が対象(定員6人) 参加費:昼食代として250円	①2月15日(金) 午前9時30分～午後1時30分 ②2月20日(水) 午前9時30分～午後1時30分	町保育士	

■申込・問合せ 12月28日(金)までに、こども課こども室に氏名・住所・年齢・連絡先・ご希望の受講科目をお知らせください。後日、決定通知で詳細をお知らせします。(会場を変更する場合があるため、必ず通知をご確認ください)



12人のヴァイオリニストの可憐な演奏を聴きながら、紫波の食材を使ったメニューを楽しんだ参加者たち

などクラシックの名曲や、ディズニーの楽しい曲が演奏されました。来場者は、美しく華やかなヴァイオリンの調べと紫波町ならではの料理を堪能し、「紫あ波せ」なひとときを過ごしました。

美しいヴァイオリンの音色と紫波の恵みを楽しむ一日

「紫波をまるごと味わうタベ」(紫波町産業ネットワーク協議会主催)は10月24日、盛岡市内のホテルで開催されました。町内外から約260人が参加し、しわもち牛やしわ豚、季節の果物、もち小麦など町内産食材の魅力を生かしたフレンチのコース料理を楽しみました。メニューはロレオール田野畑オーナーシェフの伊藤勝康さんが監修。料理には特産の地酒や酒かすも使用し、紫波オリジナルメニューを演出しました。また、食と農と音楽のコラボレーションイベントとして、ヴァイオリニスト高嶋ちさ子さんがプロデュースする12人のヴァイオリニストのコンサートも開催。「花のワルツ」や「愛の夢」



協定書を手にする(左から)伊藤代表取締役と熊谷町長

(株)マルショウ紫波と災害時における協定を締結

町と(株)マルショウ紫波(伊藤政之代表取締役)は10月15日、「災害時における無人航空機による情報収集に関する協定」を締結しました。今後災害が起きた際、無人航空機(ドローン)を使用して災害現場の情報収集を行い、町に情報を提供することになります。



喜びを見せる玉山さん(左)と熊谷町長(右)

100歳おめでとう！ 玉山 キノエさん(赤石地区)

玉山キノエさん(赤石地区)が10月20日、100歳の誕生日を迎え、入所する志和地区の施設で、入所者やお祝いに駆けつけた町長、家族から盛大なお祝いを受けた。町内の100歳以上のご長寿は玉山さんを含めて16人で、男性2人、女性14人です。(11月30日現在)

町長メッセージ

熊谷 泉

11月中旬、収穫も終わ
り、だいぶ葉も落ち
たブドウ畑に行った。かつて
大規模な団地造成がされ
た佐比内地区の丘陵地の二
角で、西日が良く当たる園
地だった。そこでは、平成24
年に新規就農者として移
住し、平成29年からは農業
委員も務める百済和至さん
が作業をしていた。百済さ
んは自分のフルーツショップ
を持つ夢を持っていて、現在
も生食やジュースの直販を
している。現在の園地50a
に隣接して新たに20aを借
りることができたそうで、
来春に向けてその手入れ
をしているところであった。

最初に彼に会ったとき、
私が「ブドウ農家はどのく
らいの面積があれば経営が
できるのかな」と尋ねたと
ころ、彼は「岡山県の農家は
10a当たり800万のブド

ウを売っています。面積はあ
まり関係ありません。佐比
内地区の気候風土はそのく
らいの可能性があると思っ
ます」と答えてくれた。

次に赤沢地区の吉田貴
浩さんを訪ねた。シャインマ
スカットのハウスに、小型のマ
ニユアスプレッターで、長岡
地区の養豚場で作ったバー
ク堆肥を散布中だった。こ
の堆肥は真つ黒で、手で握
りしめても臭いがつかない
ものだった。

吉田さんには地域運営組
織支援モデル事業で取り組
んでいる「KOMABATE
ス」を案内してもらった。赤
沢児童館隣の空き家を活
用して拠点づくりを進めて
いる。若者だけでなく、シニ
ア世代も率先して周囲の草
刈りをしてくれたとのこと
で、これからの活動が楽しみ
である。

紫波町の英会話スタジオ
ハワード・イングリッシュ・クラブ



無料体験クラス実施中!
オガールセンター
4才(年中)~15才(中3)
019-601-8585
ハワードイングリッシュ 検索

注文住宅なら職人集団の会社
小松組へ



紫波町内に新居をお考えの方へ、当社施工で、
当社所有の宅地(約64坪)を格安でお譲りします。
【場所】上平沢南馬場地内 東北自動車道紫波ICより車
で3分。上平沢小学校、紫波第三中学校まで徒歩10分

〒028-3305 紫波町日詰字下丸森17 ☎019-676-3163

正社員・パート社員 **スタッフ募集!**

- 職種／訪問看護師・介護支援専門員
- 資格／正看護師・介護支援専門員
- 給与／正社員 看護師………22万～
介護支援専門員……18万～
パート 看護師………時給1400円～
介護支援専門員……時給1200円～
- 勤務／正社員 8:30～17:00
パート 応相談
- 休日／週休二日制(シフトによる)・年末年始



特定非営利活動法人
しわ訪問看護ステーション虹
〒028-3309 紫波町北日詰字大日堂2番地1
TEL019-671-1220 (担当者: 阿部)

スタッフ募集 株式会社JAシンセラ

- ①葬儀担当・祭壇施行・葬祭会館スタッフ【契約社員各2名】
《社員登用制度あり》勤務時間/8:00～17:00※残業有
- ②祭壇施行・葬祭会館スタッフ、火葬場案内業務【準契約社員各2名】
勤務時間/要相談

給与/①月給129,000円～145,000円 ②時給770円
休日/シフト制(4週8休)、年次有給休暇、特別慶弔休暇有
資格/要普通免許(AT限定不可)
待遇/制服貸与、交通費支給(2km以上)、マイカー通勤可
①各種保険完備、各種手当有 ②労災、雇用保険加入

※事前に電話連絡の上、履歴書(写真貼付)をご郵送ください。書類選考後、追ってご連絡致します。

お問合せ (株)JAシンセラ 担当: 吉田 ☎639-3400 (受付: 平日8:30～17:30)

**遠近両用レンズが
一組10,000円から!**



「目明かし堂」検索
<http://www.meakashi.com>
※左のQRコードを開くと認定眼鏡士の説明がお聞きになれます!

当店には認定眼鏡士が在籍しております。

オガール店
(紫波中央眼科となり)
019-672-5572

日詰店
(日詰商店街バス停前)
019-676-2838

**眼科処方箋
承ります。**

眼鏡屋 目明かし堂
(有限会社 佐藤時計店)

こずかた診療所 内科



- 診療時間平日 9:00～12:00/13:30～17:30
- 受付時間平日 8:30～11:30/13:15～17:00
- 休診 土曜・日曜・祝日

介護老人保健施設 博愛荘

■施設概要 在宅復帰に向けた支援を目的に、医学的管理のもとに看護・介護
及びリハビリテーション、その他日常生活のお世話をさせていただきます。

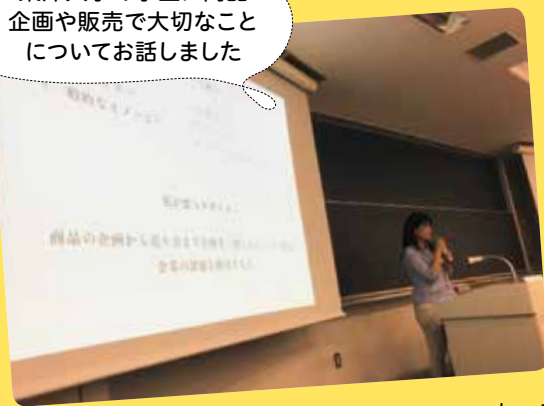
■利用対象者 65歳以上で介護保険の要介護1～5の認定を受けられた方。
※45歳以上の方は特定疾病の診断を受けなおかつ要介護1～5の方

矢巾町大字又兵衛新田5-335 医療福祉多機能ビルケアセンター南昌(矢幅駅西口)
☎019-698-2015(代) ☎019-698-3033(受付)

紫波ネット広告を募集しています

■掲載料 1枠1万800円(税込み) ■申込・問合せ 企画課 総合政策室
☎672-2111 内線2314 ✉shiwa.info@gmail.com

東洋大学の学生に商品企画や販売で大切なことについてお話をしました



地域おこし協力隊だより

地域おこし協力隊
佐々木 由美子さん



しわわ

shi・wa・wa

■担当 企画課 地域おこし協力隊 ☎672-2111 内線5126

5月に着任してから、おかげさまでこれまで身に付けた技術や知識が必要とされる場面や、経験談をお話する機会に恵まれています。着任早々に相談があったのは、紫波中央駅前で町産の果物を使ったアイスを販売したいというお店でした。食と農の魅力化担当として、ネーミングやロゴ、オープンチャラシデザインに協力しました。

一つ一つ手作りのアイス。手仕事を感ずるお店のぬくもり。子どもも大人も高齢者も、みんなが集まる駅前でおいしいアイスを食べながら自然とふれあう暮らしをつくる。こんな思いを込めて「クラフトクラフト」というネーミングをご提案しました。夏のオープンを目指す大急ぎでの作業でしたが、新しいお店ができる喜びや、町でとれる果物の種類の多さを知るなど大きな学びとなりました。

10月に開催された「あづまねマウンテントレイル」(P.2・3でも紹介)では、ロゴやパンフレットなどのデザインをお手伝いしました。こたつ山と呼ばれ、地元で愛される東根山と金色に輝く稲穂。大会を通じて選手や参加者の皆さんに、町の実りと豊かさを感じていただけるようなイメージに仕上げました。

また、先日は東洋大学の学生の前で話をする機会があり、商品の企画から販売までを考える上で大切なこと、デザイナーという職業についてお話ししました。現在もいくつかの案件が進行中ですが、活動の幅に広がりができるほど、日々の学びや気付きを大切にしていきたいと思っています。

さて、今年もいよいよ残りわずかとなりました。私は毎年帰省の際に家族や友人との交流、故郷の味に元気をもらっています。年末年始に忙しくて帰省できない家族や、遠く離れている家族に、ぜひ故郷の味や産品、あなたの元気な声を届けてあげてください。照れくさくて口には出さないかもしれませんが、心に故郷を思いながら暮らしているのはみんな同じなはずですよ。



デザインを手掛けた「あづまねマウンテントレイル」のポスター(左)と「クラフトクラフト」のオープンチャラシ

クリスマス・年末年始に
紫波のワインを
【年末年始の営業のお知らせ】
年末は12/30まで年始は1/3から営業
1/3~1/14まで初売特売

自園自醸ワイン 紫波

岩手県紫波町産葡萄100%のこだわりワイン

お問い合わせは県内酒販店・スーパー・百貨店にて

(株)紫波フルーツパーク 紫波町連山字松原1-11

道の駅紫波200m奥

☎019-676-5301

http://www.shiwa-fruitspark.co.jp/ 紫波ワイン 検索



紫波町民
平日限定 入浴割引券

12月29日(土)~1月3日(木)はご利用できません
大人700円→400円 子ども350円→200円

※温泉館受付でこの紙面をご提示ください。※1枚で1グループ、期間中何回でもご利用いただけます。※上記金額はお一人様の入浴料金となります。

【割引券有効期間】平成31年1月31日まで

お問い合わせ 紫波町小屋敷字新在家90番地

☎019-673-8555

http://www.lafrance.co.jp/



お肌に優しいアルカリ性温泉
La France
ラ・フランス温泉館

2018感謝キャンペーン
実施中

第1弾 12/7(金)~15(金)
第2弾 12/18(金)~30(日)迄

相心館 ゆう 美容室

〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺古屋敷6-31

TEL019-676-5825

http://www.7b.biglobe.ne.jp/~aisinkan_yu/

E-mail yu@posh.jp

【定休日】
12月9日・10日・16日
17日・24日
年末年始12月31日~1月4日(5日より営業致します)

ホームページで
お得情報をご覧ください。
携帯・スマホから
アクセス!



振り返る2018

今年も残りわずかとなりました。主な出来事を振り返ります。



【3月】紫波×山トークショー



【昨年12月】図書館5周年記念トークイベント
「図書館にデザインは必要か？」



【4月】城山桜まつり



【4月】紫波町汚泥再生処理センターが開所



【8月】第30回金山祭



【7月】オリンピックデー・フェスタin紫波



【10月】あづまねマウンテントレイル2018



【9月】カナダの女子バレーボール代表チームが事前合宿

- | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------------------|--|----------------------------|---|----------------------------------|--|--|---|---|--|--|---|---|--------------|
| <p>30日 紫波町オガールプロジェクトにおける公民連携が</p> | <p>14日～31日 学校再編整備に関する意見交換会を町内11小学校区で開催</p> | <p>5月 紫波町汚泥再生処理センターが開所</p> | <p>28・29日 住民を主体とした実行委員会により、城山桜まつり開催</p> | <p>1日 紫波町消防団が「消防団等地域活動表彰」を受賞</p> | <p>7日 紫波町消防団が「消防団（卒頭綬）」を受賞</p> | <p>6日 紫波町消防団が日本消防協会から「優良消防団（卒頭綬）」を受賞</p> | <p>3日 紫波×山トークショー開催</p> | <p>3月 紫波町幼児教育・保育共通カリキュラム作成委員会実践研究発表会開催</p> | <p>25日 里山創造フォーラム2018 in 紫波開催</p> | <p>24日 紫波町長選挙当選証書付与式（任期は2018年2月8日～2022年2月7日）</p> | <p>29日 紫波町長選挙当選証書付与式（任期は2018年2月8日～2022年2月7日）</p> | <p>17日 図書館5周年記念トークイベント「図書館にデザインは必要か？」開催</p> | <p>昨年12月</p> |
| <p>2日 古館公民館が文部科学省の優良公民館表彰を受賞</p> | <p>11月 「あづまねマウンテントレイル2018」開催</p> | <p>28日 紫波町産業まつり</p> | <p>10月 第35回紫波町産業まつり</p> | <p>26日 交通死亡事故ゼロ9カ月を達成</p> | <p>24日 カナダの女子バレーボール代表チームの歓迎レセプションを開催。選手14人とスタッフ6人が26日まで、バレーボール専用体育館「オガールアリーナ」を拠点に世界選手権に向けた事前合宿</p> | <p>14日 第30回金山祭開催</p> | <p>8月 「オリンピックデー・フェスタin紫波」開催。オリンピック6人が来町</p> | <p>7月 「オリンピックデー・フェスタin紫波」開催。オリンピック6人が来町</p> | <p>16日 (株)ループラスが「いわて男女共同参画社会づくりチャレンジ表彰」を受賞</p> | <p>6月 (株)ループラスが「いわて男女共同参画社会づくりチャレンジ表彰」を受賞</p> | <p>2018年日本建築学会賞（業績）を受賞（受賞者は岡崎正信さんとオガールデザイン会議）</p> | | |

本の感動や素晴らしさを伝える POPコンクール入賞者をお知らせします

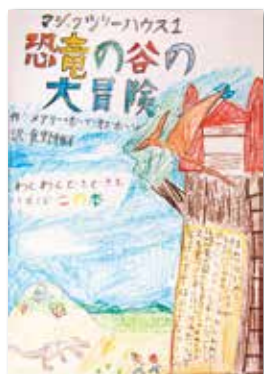
町は、家族みんなで読書に親しみ、本の魅力を伝え合うことを目的に「第6回わたしの『おすすめ本』POPコンクール」を開きました。POPとは、簡単な文やイラストで本の魅力を表現するカードのこと。今年は464点の作品が寄せられ、町の教育振興運動推進委員会長と図書館長、中央公民館長で審査をした結果、次のとおり入賞者が決まりましたのでお知らせします。(賞学校・学年・氏名・題名/敬称略)

《小学生・低学年の部》

《教振会長賞》

- ・日話小学校 3年
福士 日晴

「恐竜の谷の大冒険」



《図書館長賞》

- ・赤沢小学校 1年
梅澤 杏里沙

「ねこになりたいにやあ」

《特別賞》

- ・赤沢小学校 2年
阿部 莉央奈
- 「ひまわり」

- ・赤沢小学校 3年
藤島 未央
- 「どんぐりむらのどんぐりえん」

《小学生・高学年の部》

《教振会長賞》

- ・日話小学校 5年
熊谷 友彩

「つるばら村のパン屋さん」



《図書館長賞》

- ・赤沢小学校 6年
遠山 美穂

「からくり夢時計」

《特別賞》

- ・佐比内小学校 5年
石杜 もも
- 「つるばら村のパン屋さん」

《中学生の部》

《教振会長賞》

- ・紫波第二中学校 3年 福山もえ
- 「おかみこどもの雨と雪」



《図書館長賞》

- ・紫波第一中学校 1年
田村 夏奈

「どこよりも遠い場所にいる君へ」

《特別賞》

- ・紫波第一中学校 1年
塩井 琴音
- 「UFOがくれた夏」
- ・紫波第一中学校 2年
畑山 萌南
- 「ボクの妻と結婚してください」

《高校生・家族・一般の部》

《教振会長賞》

- ・一般 工藤 晋
- 「100本のボルドーワインのための100皿の料理」



《図書館長賞》

- ・一般 工藤 咲子
- 「虹色ほたる 永遠の夏休み」

《特別賞》

- ・一般 館藤 美智子
- 「BUTTER」
- ・家族 新里 心音/由美子
- 「ぼくのぱんわたしのぱん」
- ・一般 阿部 友美
- 「ちよつとだけ」

《学校賞》

- 水分小学校、佐比内小学校、赤沢小学校、紫波第三中学校



第6弾「歯の健康」

～歯、歯、歯と笑顔で健康づくり～

町は、町民一人ひとりが健康な状態で長生きし、元気はつらつな人生を送るために「元気はつらつ紫波計画」を策定しています。この計画では、食生活や運動、たばこ、生活習慣病など、7つの領域に分けて健康づくりを推進しています。

今回紹介する「歯の健康」の分野では、「自分の口で食事を楽しむ人が増加すること」を領域目標にしています。

歯を失う原因のほとんどが「歯周病」と「むし歯」

歯と歯茎の隙間から細菌が入ると、歯ぐきに炎症を起こしたり、ひどい場合は歯を支えている骨を溶かしてしまいうこともあります。これを歯周病といいます。歯周病の二大危険因子といわれているのが、糖尿病と喫煙です。

禁煙により、

歯周病が予防できます

たばこの煙の入り口となる口腔は、直接煙の影響を受けます。たばこの煙に含まれる一酸化炭素やニコチンなどは、歯ぐきの抵抗性や治癒に悪影響を及ぼします。喫煙者は歯周炎が進行し、治療を受けても効果が出にくい

上、手術を受けた後の回復が遅れるといわれています。

また、非喫煙者でも他の人のたばこの煙を吸い込む受動喫煙によって、歯周病のリスクが高くなることが分かっています。

禁煙により歯周病が予防できるほか、進行した歯周炎でも治療の効果が出やすくなり、歯の喪失が抑えられることも明らかになっています。

歯周病重症化の原因 糖尿病

糖尿病により、体を守る機能が低下するほか、血管の壁がもろくなったり傷の治りが遅くなったりします。結果、歯周病の原因となる細菌に感染しやすくなり、炎症を起こすと歯周組織が急激に破壊され、歯周病が重症化していきます。

また、歯周病の菌が歯ぐきから血管内に入り込み、インスリンをつくりに

くくする作用があることが分かっています。インスリンは血糖値を下げる働きがあるため、歯周病の悪化により血糖値が上昇し、糖尿病の病状も悪化してしまう可能性があります。

毎日の歯磨きを

丁寧に行いましょう

歯周病予防の基本は、毎日の歯磨きを丁寧に行い、できるだけ磨き残しをなくすることです。また、糖分の多い食事、運動不足、野菜不足などの生活習慣を見直すことも予防になります。

定期的に歯科医院を受診し、今の自分の口の健康状態を確認することや、歯磨きの方法をチェックしてもらうことも大切です。かかりつけの歯科医院を持ち、自覚症状がなくても年に1回は健康診査を受けるようにしましょう。

成人歯科健康診査

年に一度、成人歯科健康診査を受けることができます。受診に必要な受診券は健康福祉課で配布しているほか、各歯科医院にも設置しています。

■期間 平成31年2月28日(木)まで

■場所 紫波町歯科医師団に所属する歯科医院 12カ所(実施していない歯科医院もあるため、必ず事前に電話で確認・予約をしてから受診してください)

■対象 40～70歳(平成31年3月31日現在、昭和23年4月1日～昭和54年3月31日生まれの人)

■料金 無料



福祉

ご存じですか？障がい児のための通所支援サービス

障がいのある子どもが利用できる通所支援サービスをご紹介します。

※町内のほか近隣市町村にも事業所があります。

身体・知的・精神に障がいのある子ども（発達障がい児も含む）が対象です。手帳がなくても、医師などにより療育や福祉サービスの必要性が認められた場合も対象となります。

サービスを受けるためには、役場に申請して、受給者証を取得します。また、「障害児支援利用計画（ケアプラン）」の作成が必要です。気軽にご相談ください。



①児童発達支援

（就学前の子ども）

日常生活や、集団生活に適応するための基本的な動作や知識を身に付けるための指導を受けることができます。保育所や児童館、認定こども園、幼稚園などとの併用も可能です。

②医療型児童発達支援

（上肢・下肢、または体幹に障がいのある就学前の子ども）

児童発達支援に合わせて、医療的なケアを提供します。

③放課後等デイサービス

（小学生～高校生）

学校の授業終了後や休業日、夏休みなどの長期休暇中に、生活能力向上のための指導や学習支援を受けるほか、事業所によってさまざまなプログラムがあります。学校や家庭以外で安心して過ごせる「居場所づくり」の意味合いもあります。



■申請・問合せ 健康福祉課 福祉推進室 ☎672-2111 内線1323

ヘルシーレシピ



材料 [4人分]

カボチャ	250g	枝豆	適量
桃(缶詰)	1個	マヨネーズ	大さじ1
レーズン	適量		

一口メモ

フルーティーでさわやかな風味のサラダです。色々な食感を楽しみながら食べてください。

【かぼちゃサラダ】

作り方

- ①カボチャは皮と種を取り、1cm角に切ってゆでる。
竹串が通るくらいになったらザルに取り水気を切る。
 - ②桃は1cm角位に切り、レーズンと枝豆、カボチャをマヨネーズであえる。
- 【ポイント】
- ・カボチャの水気をしっかり切らないと、水っぽく仕上がります。
 - ・カボチャには、風邪の予防に効くβカロテンが含まれています。皮やワタに多く含まれているので、捨てずにきんぴらや味噌汁に入れて食べましょう。



【レシピ提供】
紫波町食生活改善推進員協議会
赤沢地区会員の皆さん

11/7 紫波マルシェ来場者が200万人を達成

オガールプラザ西棟にある産直「紫波マルシェ」でレジ通過者数が200万人に達したことを祝い、記念行事が行われました。200万人目は、花巻市の勝山裕之さんと朋子さんご夫婦。同産直を運営するオガール紫波㈱の佐々木廣代表取締役から、同産直で使える商品引換券が手渡されました。「図書館の利用に合わせて、新鮮で種類豊富な野菜を買うために足を運んでいます。図書館と産直が連携しているのも良いですね」と話した勝山さんご夫婦。佐々木代表取締役は「今後は6次産業化支援に力を入れていきたいです」と展望を語りました。同産直は平成24年にオープンし、現在の出荷会員数は325人です。



(左から)石上直美店長、佐々木代表取締役、勝山裕之さん、朋子さん



時には手足を使ってピアノのリズムを楽しみました

11/9 ホールに響き渡った美しいピアノの音色

上平沢小学校(箱崎悟校長)で、日本を代表するピアニスト・西村紀江さんによるピアノコンサートが開かれました。同校での演奏は昨年に続き2回目となる西村さんは「木造校舎の木のぬくもりの中で、心地良く演奏ができます。ピアノを通じてまた皆さんに出会えてうれしいです」とあいさつ。自身が作曲したオリジナル曲など8曲を披露し、鑑賞した児童62人と保護者・地域の方々合わせて約150人から惜しみない拍手が送られました。最後は西村さんの伴奏に合わせて、児童全員が校歌を合唱。6年生の浦田優香さんは「『風のスキップ』という曲が好きなので、聴けてうれしかったです。曲のアレンジがすごくて、私も近付けるように頑張りたいと思いました」と、プロの演奏に刺激を受けていました。

11/13.19 私たちが育てたリンゴをどうぞ♪

赤沢小学校(高田勇幸校長)の3年生5人は11月13日、リンゴの収穫作業を体験しました。これまで葉摘みや摘果作業を体験し、各作業の意味や大変さを学んできた児童たちは、リンゴの軸が抜けないよう一つ一つ丁寧に収穫していました。吉田愛琉さんは「収穫したリンゴは、見たことのないくらい蜜が入っていておいしかったです」とにっこり。指導した中村富美子さんは「赤沢ではリンゴをはじめ、たくさんのおいしい果樹を生産していることを知ってほしいです」と話しました。収穫したリンゴは、11月19日に産直センターあかさわで児童たちの手で販売され、児童たちは「おいしいリンゴですよ!」とお客さんにアピールしていました。



産直センターあかさわで自慢のリンゴを手にする児童たち

11/15 たくさん食べよう 町産の豚肉

町は、11月を「紫あ波せお29推進月間」として、町産の肉にこだわった学校給食を提供しました。11月15日は、JAいわて中央養豚専門部会が無償提供したしわ豚を使った、大根としわ豚のピリ辛炒めとしわ豚のさつま汁が登場。赤石小学校(妻田篤校長)に2人の生産者が訪れ、3年生の児童61人と会食しました。生産者の七木田一也さんは「いただいている命に感謝して、残さずたくさん食べてください」とあいさつ。大沼緋夏さんは「お肉はやわらかくておいしかったです。これからもおいしいお肉を生産してほしいです」と話しました。



おいしい給食にっこり笑顔



慎重に安全に作業する二中学生

11/22 お世話になった陸上競技場で奉仕作業

紫波第二中学校(内田興子校長)の全校生徒132人は、紫波運動公園陸上競技場の整備作業を奉仕しました。この作業は走路ラインテープが積雪などで傷まないよう、ラインの上に保護シートをかぶせてブロックを置きます。生徒たちは、友達と協力しながら丁寧に、そして効率的に作業を進めていました。「特設陸上部として3年間、継走大会のために陸上競技場を使用させてもらいました。今日は感謝の気持ちを込めて作業しました」と3年生の藤原葵さん。来年の春には、シートとブロックの撤去作業を予定しています。

11/24 誰もが生きやすい社会の実現に向けて

町は、情報交流館で男女共同参画セミナーを開催しました。約50人の参加者を前に、ガールスカウト岩手県第11団リーダーの清水頭聖子さん、紫波警察署生活安全課長の岡市善寿さん、はちすずめ菓子店主の阿部静さん、(株)ループラス代表の細川恵子さんが自身の活動に込める思いや気付きなどを発表。コーディネーターを務めたもりおか女性センター センター長の平賀圭子さんは「女性が自分で判断を下すためにも、自己肯定感を高めることが重要。細やかなところに気付く女性の特性を生かして、社会を育てていきたい」と締めくくりました。参加者にとって、誰もが生きやすい社会の実現に向けて、自分たちにできることを考えるきっかけとなったようでした。

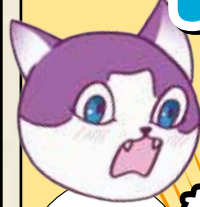


「自ら考え、行動する女性を育てたい」と話した清水頭さん

行ってみよう

作画:かねた丸

めぐって学んで五感で
味わう紫波探訪⑦
「十二神しわ黒豚農場」



こんにちは！
ここは黒豚さんのお家かな？

わー！
ふひー！



あずりん、こんにちは。
ここは「しわ黒豚」を
育てる農場だよ。
紫波町では40年ほど
前から、黒豚の生産を
続けているんだ。

紫波の黒豚は、
全国放送の料理番組にも
出たんだよ！

くまが あきお
熊谷 明夫さん
十二神しわ黒豚農場 代表

鹿兒島県が原産の黒豚。
熊谷さんの農場では、
1 おいしいお肉
2 お肉の鮮度・日持ちが
良い
3 活力・精力がつくお肉
この3つを「しわ黒豚」の
ブランド価値として考え
て、大切に育てています。



黒豚の赤ちゃん

みんなで
しわ黒豚を
おいしく
食べよう！

善玉コレステロール
を減らすことなく、
悪玉コレステロール
を減らすといわれる
「オレイン酸」がたっ
ぷり含まれる「しわ黒
豚」は、おいしさはも
ちろん、健康を考え
る人に人気！



産業まつり試食会の様子

しわ黒豚は、いわて生協の共同購入で買え
るほか、産直あぐり志和で精肉を販売して
います。(※)産直あぐり志和内にある「あ
ぐりちゃや」では、黒豚丼が食べられるよ！



「あぐりちゃや」黒豚丼

ここで飼料米を
作っているよ

広い田んぼ
だにや！

黒豚の餌は、こだわりの
配合。自分の田んぼ
で飼料用米を作り、配
合しています。また青
草、野菜くずなどを食
べさせています。

おいしくて質の良いお肉を作るた
めには、ストレスのない環境が大
切です。熊谷さんの農場では「密飼
い」をせず、常に餌や水を与えてい
ます。黒豚たちは元気に走り回っ
て、のびのびと過ごしています。



【紫波ブランドの発信地へ！】 十二神しわ黒豚農場

■住所 紫波町片寄字堤下48

■電話 ☎673-6218

※精肉販売は、産直あぐり志和(紫波町片
寄字山田前293-2)で、毎月第一土曜
日に行っています



熊谷さんは「ここまでこれたのは
黒豚母ちゃん(妻のおかげ)」と感謝
し、今後ますますの活躍を誓いま
した。

安心安全と
おいしさが魅力！



あずりん
東根山で暮らす、ねこの子ども。ものづくりに興味が有り「猫
の手を貸す」ためにやってきた！
紫波のくだものが大好き！